



1 学期の地域学習から

内部東小学校では、「自然と地域を愛し、人間性豊かにたくましく生きる子どもの育成」という学校目標実現のために、毎年、地域の方々に講師として授業に入っていただき、体験的な学習を行っています。

5月21日(火)、コミュニティーの方々にお世話になり、1年生がサツマイモの苗植えを行いました。あらかじめ斜めに空けていただいた穴に、苗を差し込み、3～4節を埋めて土をしっかりとけておさえました。苗を立てて植えてしまうと、イモができたときに一か所に集まってしまっても大きくなれないということも教えてもらいました。今年度は、コミュニティーの方々に、草地の「実のなる丘」を開墾して畑を一から作っていただくことからお世話になりました。ありがとうございました。



5月23日(木)、4年生がヤゴ救出大作戦を行いました。プール掃除を前にして、プールの中で生息しているヤゴを救出して、敷地内にあるトンボ池に放流しようという取り組みです。年によってはほとんどヤゴがとれないこともあるのですが、今年はたくさんのヤゴをとることができました。午後には、コミュニティーの方々と一緒に無事にトンボ池に放流することができました。池の中には、木の枝をさしこんで、トンボが羽化しやすい環境も整えました。

6月3日(月)、「内部ホテルの里を育てる会」、コミュニティーの方々に来ていただき、3年生がホテルの学習を行いました。内部東小学校の敷地にある「実のある丘」にある水路では、ホテルが生息しています。数年前、何もないところから、地域の方々が整備していただき、ホテルが生息できるような環境を一から創り上げていただきました。子どもたちは、ホテルの生態について教えていただき、暗幕を引いた室内で、実際にホテルが光っている様子も観察させていただきました。



6月3日(月)、4年生が「内部っ子はげまし隊」の方々と一緒に、ツツジの剪定を行いました。剪定ばさみを使うときに注意することや、なぜこの時期に剪定を行うのかといったお話を聞いた後、はげまし隊の方々と一緒に剪定の体験を行いました。

このほか、学校での児童の様子については、随時、学校ホームページ「学校・子どもの様子」に載せています。お時間があれば、内部東小学校ホームページで検索してご覧ください。